

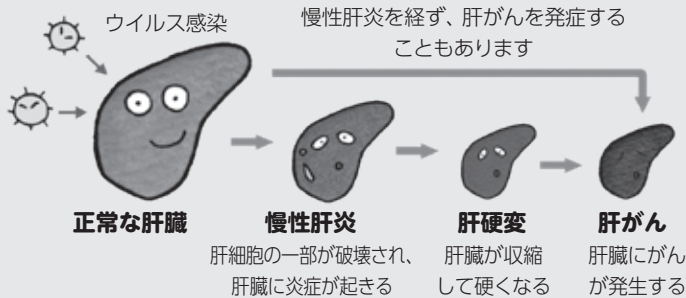


一生に一度は **肝炎ウイルス検査** を受けてみましょう!

肝炎
とは?

肝臓に炎症が起こり、疲労や発熱、吐き気などの症状が現れる疾患です。アルコールや薬物が原因で起きることもあります。最も多いのが、ウイルスの感染が原因となって発症する**ウイルス性肝炎**です。

肝炎ウイルスについて



自分でも知らないうちに感染し、自覚症状もほとんどないまま進行するケースが少なくありません。適切な治療をせずに放置すると、肝硬変や肝がんを発症するおそれがあります。日本人がかかる肝がんのおよそ8割がC型肝炎、残りの大半はB型肝炎が原因と言われています。肝がんの予防のためにも、まずは検査を受けて、感染の有無を知ることが大切です。

肝炎と肝炎ウイルス検査の詳細はこちら▶
厚生労働省ホームページ「知って、肝炎プロジェクト」



肝炎ウイルス検査の受け方

肝炎ウイルスに感染しているかどうかは血液検査で判断します。

★40歳以上の市民の方は無料で検査を受けられます
(生涯1回のみ)

【申込方法】下記へお電話ください
健診専用電話 ☎870-5655

特にウイルス検査を受けた方がよい方(以下に当てはまる方)

- 生年月日が1985年以前
- 1992年以前に大きな手術や輸血を受けた
- 健康診断で「肝機能」の数値が基準値を超えていた
- 入れ墨やピアスをしている
- 妊娠・出産時に大量出血をした

肝炎ウイルスは血液を介して感染します

肝炎ウイルスの存在が知られていなかった当時は、輸血用血液や血液製剤がウイルスに汚染されているケースがありました。また、1980年代まで注射器の連続使用も行われていたため、知らないうちに感染している可能性があります。

肝炎ウイルス検査が陽性だった場合の費用助成について

県では、初回精密検査や定期検査など、検査や治療にかかわる費用の助成を行っています。

右記へお問い合わせください。

茨城県の肝炎対策や検査・治療費の助成については県ホームページをご覧ください▶



●市の検査を受けた場合…**健診専用電話 ☎870-5655**

●市の検査以外の場合…

検査を受けた医療機関 または
竜ヶ崎保健所(保健指導課) ☎0297-62-2367

妊婦の方へ

母子感染(出産時に赤ちゃんに感染)のリスクを防ぐため、妊婦健康診査では「肝炎ウイルス」の検診を受けています。必ず結果を確認しましょう!

妊婦健診の肝炎ウイルス検査結果の確認方法

母子健康手帳で、検査の記録をご確認ください。妊娠初期に行われる血液検査で、HBs抗原が陽性(+)であった場合は、B型肝炎ウイルスに感染、HCV抗体が陽性(+)であった場合は、C型肝炎ウイルスに感染しています。

肝炎ウイルス検査が陽性だった場合

B型の場合は、出産後すぐに赤ちゃんに薬(注射)とワクチンを打てば、多くの場合、赤ちゃんの感染を防ぐことができます。妊婦健診を受けた医療機関に相談し、必ず精密検査を受けましょう。



垂直感染

母親から出産時などに感染(母子感染)